

第26号
令和2年8月27日発行

朝日庄内森林生態系保全センター

〒997-0404

山形県鶴岡市下名川字落合3

TEL:0235-58-1730

FAX:0235-58-1731

E-mail: t_syounai_f@maff.go.jp

Homepage: [http://www.rinya.maff.](http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/)

[go.jp/tohoku/syo/asahi/](http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/)

朝日庄内の風

朝日自然塾 みんなで歩こうタキタロウへの道(大鳥池登山)

7月10日(金)鶴岡市立あさひ小学校の大鳥自然教室として5年生児童31名、教職員4名、スタッフ13名、総勢48名で実施しました。

出羽三山の自然を守る会 講師の安全に登山するためのお話、体操のあと、雨を予感させる曇り空の中、児童達は元気いっぱいに出発しました。

岩場や小沢の中など足場の悪いいくつかの難所をスタッフのサポートを受けながら、班ごとにお互いを励まし合いながら歩きました。

道中人里ではあまり見られない植物、大木、昆虫、地形、水の働き等をスタッフの説明を聞き、驚きながら観察していました。小雨の中最後の急斜面、七曲がり息を切らしながら登り切ると、伝説のタキタロウが棲むという大鳥池が、霧が漂う山々を従えて待っていました。その雄大さと達成感で歓声があがりました。

森林の働きやそこに住む動植物、山でのルールなど、普段教室では学べないことを体験し、朝日山地の奥深さを知る一日となりました。ふるさとの自然を体験したことが、仲間を思いやる気持ち、身近な自然への関心、心のエネルギーとなることを期待しています。

出羽三山の自然を守る会、山形県山岳連盟、庄内森林管理署の方々にスタッフとしてご協力いただきました。大変ありがとうございました。



手で指す斜面には、まだ雪渓が残っています



危険な箇所も乗り越えて



揺れながら吊り橋を渡ります



タキタロウもびっくり!! 勝利の雄叫び

朝日自然塾 プロが教えるイワナ釣り

朝日自然塾「プロが教えるイワナ釣り」は、7月23日(祝・木)に鶴岡市大鳥の東大鳥川で、9家族24名の参加者と自然塾スタッフ14名の総勢38名で実施しました。受付で事前をお願いしていた当日の体温など感染症拡大防止のためのチェックシートを記入してもらいました。

山形県溪流釣り協議会会長の安全に楽しく溪流釣りをを行うためのお話の後、梅雨が明け切らない空模様でしたが、4班に分かれ最初に協議会の講師に、エサの付け方・竿の振り出し方・仕掛けの流し方、ポイント等を教わり溪流釣りをスタート。強い驟雨があり予定よりも短時間になってしまいましたが、ウグイ等を釣り上げ、1時間ほど溪流釣りを楽しみました。



ウグイが釣れました

場所をタキタロウ館前の釣り堀池に移動して、今度は、イワナ・ニジマス釣りに挑戦しました。ニジマスを次々と釣り上げました。なかなか釣れないイワナを釣り上げて人もいます。釣った魚は、講師の指導を受け上手にさばき、塩を振り、新聞紙に巻いてお土産にしました。嫌がらずに魚をさばく我が子の姿に驚いていたお母さんもいらっしゃいました。

お昼時には、スタッフが汗だくになりながら焼いたイワナの炭火焼きを口いっぱいこぼおぼっていました。おいしいと毎年大好評です。



大物が釣れた！



お父さんが一番うれしそう です

午後は3つのプログラムを併行して実施しました。過密にならないように、注意しながら行いました。また前日に施設のテーブル、椅子等の消毒を行いました。

- ① 世界で一つのオリジナル毛針作り
- ② フライフィッシングでキャスト体験
- ③ のべ竿を使った的あてゲーム

世界に一つだけの毛針作りは、講師がいかにしてイワナを上手にだますか、水生昆虫や陸生昆虫の生態、イワナの習性等の話を交えながら、マンツーマンで作っていきます。



上手にさばけて お母さんもビックリ



裏方1: 3時間かけたイワナ炭火焼き



裏方2: 前日に館内施設の消毒作業



世界に一つだけの毛針を作ります



フライフィッシング キャスティング体験



的を狙って竿振りゲーム

溪流釣りは、のべ竿に餌をつけて行いましたが、フライフィッシングのキャスト体験で、更に溪流釣りに興味をもった場合の世界を体験してもらいました。のべ竿の的当てゲームは、これまでのアンケートでゲームをしたいという要望があり、今年初めて実施しました。のんびりした雰囲気の中盛り上がり、始めて会った子供同士が応援しあい仲良くなりました。その後、「イワナに関するとおきの話」として貴重な体験談やイワナと森林の関係などを協議会の講師から教わり、イベントを終了しました。

溪流釣りの時間が短くなり、釣果のなかった人もいましたが、コロナ禍の中、それぞれに野外活動を楽しまれたようです。

今回の自然塾では、山形県溪流釣り協議会、鶴岡市朝日庁舎、庄内森林管理署の皆さんにご協力いただきました。大変ありがとうございました。



最後に集合写真 野外で楽しく過ごせました

あさひ小学校5年生が広葉樹更新補助作業を実施

7月3日(金)鶴岡市あさひ小学校5年生31名が朝日山地森林生態系保護地域内(保全利用地区)でスギ人工林から天然生林へ誘導するための補助作業として、スギの伐倒・枝払いを行いました。

「朝日の豊かな自然や文化に親しむ」等をねらいとして、あさひ小学校では森林生態系保護地域で森林保全活動を行っています。

6月24日に前出の大鳥池登山の説明と共に日本・山形県・鶴岡市の森林、森林の働き、森林の整備について事前学習を行いました。

当センター職員が作業前に森林整備の必要性、作業手順、安全に作業するための注意事項を説明しました。立木を手鋸で伐倒するので、いつも以上に集中力が必要で、児童達は真剣に聞いていました。

庄内森林管理署から2名応援をいただき、4班編制で各班1本間伐します。受け口作りから始めますが、斜めの線と水平の線を一致させることに苦労しました。挽いても挽いてもなかなか倒れませ

2 森林の働き

(1) 森林には、生産・消費・分解のサイクルがある(食物連鎖)



事前学習 森林の働き



様になる腰構えで伐倒スタート

ん。体力の限界に達したら交代しながら、遂に伐倒。小さな木ですが、木が倒れる時の音、迫力にちょっとビックリします。

林床に光りを当て、実生による更新や稚樹が成長しやすいように、枝を払い、幹を玉切りしました。伐倒木の小片は自分や家族へのお土産となりますが、コースターを取る子や枝付きの部分を取る子など個性が現れたお土産となりました。最後に校長先生が林内に生えていた広葉樹の葉を用い、天然生林化の目的や生物多様性について易しく説明して下さいました。



指を切らないように注意して枝払い



今年のお土産は皮むき材が流行です



現地素材を使った校長先生のお話

鶴岡市朝日地区は森林率が高い地区ですが、普段暮らしている場所の上流にある森林にアクセスして作業を行ったことは、自分達が暮らしている地域を知るよい体験になったことと思います。

山形大学学生と試験地の植生調査

朝日山地森林生態系保護地域 保全利用区域内にあるスギ人工林を針広混交林に誘導する取組を実施しています。7月29日に山形大学農学部 菊池准教授並びに学生8名の協力を得て、植生調査を実施しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、山形大学がフィールド調査に制限を設けており、例年よりも時期が遅くなりました。

調査は、天然生林に誘導するために必要・効果的な作業を検証するため、下刈・つる切り・除伐の有無による広葉樹の成長(樹高、胸高直径)・枯損、樹種・生活型の変化(被度)を記録しています。また周辺から山取りし植栽した広葉樹稚樹の生存状況を記録しています。

現段階では、設定後の期間が短いため、作業種の違いによる大きな変化は見られていませんが、今後も推移を継続調査していきます。



低木の樹種の同定が難しい



大きくなってきた広葉樹のサイズを計測中

オオハンゴンソウの除去方法を比較するプロットを設定

オオハンゴンソウは、「生態系、人の生命もしくは身体または農林水産業に被害を及ぼす外来種」である特定外来生物に指定されています。大量の休眠種子による土壌シードバンクの形成や地下茎からの茎の叢生により強い繁殖力があり、駆除が困難で他種を駆逐し、優占してしまい在来植物に大きな影響を与えています。



細根が豊富な根茎。

運搬・処分は適正に行いました



手前から無処理区・根系処理区・地上部処理区

保全利用区域の林道沿いの空き地に限定的に生育しており、2年前から除去を行っています。これまでは花期前の7月下旬に猛暑の中除去していましたが、再生数も多く、より効果的な手法が必要です。今年は栄養を十分に蓄積する前と思われる5月下旬に除去しました。根茎から除去・地上部のみ除去・無処理のプロットを2箇所設置し、秋期に効果を検証します。

大鳥池への登山コースのショートカット規制

幻の魚タキタロウが棲むと言われる大鳥池は、ブナ等の巨木の森を通して、3時間程度で登れる気品あふれる山上湖です。朝日山地の北の名峰以東岳に通じ、縦走ルートにもなっており、登山者の多い主要ルートの一つとなっていますが、急斜面になる箇所では、つづら折りの歩道になっており、ショートカットして法面を歩行することを規制するため、本格的な登山期の前にトラロープと標識を設置しています。



上下に設置し、崩れやすい法面を保護します

スノーモービル乗り入れ規制パトロール

月山周辺域へのスノーモービルの乗り入れは、自主ルール「月山特別ルール」に則り、国立公園特別保護地区、森林生態系保護地区への乗り入れ禁止、乗り入れ地点の限定、樹木の損傷禁止等自然環境の保護等を行いながら利用しています。ルール、マナーの遵守状況、鳥獣、自然環境への影響の有無等を確認するため、関係機関と連携しながらパトロールを行っています。今シーズンは暖冬少雪であったこともあり、3/12、3/30、4/4にセンター単独でパトロールを行いました。樹木の損傷、乗り入れ自粛区域への乗り入れ等の問題行為は、確認されませんでした。



乗り入れ利用区域内の走行跡

新型コロナ感染症対策で計画を変更した業務

当センターが主催または事務局を務めるイベント、会議等で新型コロナ感染症の影響を受けた業務と実施状況をお知らせします。

1 会議

- (1) 東北森林管理局保護林管理委員会 朝日山地森林生態系保護地域部会
書面開催で実施済み
- (2) 朝日山地森林生態系保護地域 巡視員会議(春期)
書面開催で実施済み

2 森林環境教育系のイベント

(1) 朝日自然塾

「カッチャバ湿原の昆虫観察・大井沢で一日昆虫博士」
ハッチョウトンボの羽化期に合わせ6月下旬に予定していましたが、延期しました。秋期の開催について検討中です。



朝日自然塾 カッチャバ湿原 (過年度)

(2) 西荒瀬保育園 「みどりの保育園」推進事業 への講師派遣

4月、5月に各 1 回計画されていましたが、保育園職員のみで実行することになり、当センターでは「きのこの駒打ち」でホダ木の穴空け・運搬、「クロマツ探検隊 I」で保育園職員とクロマツ林の下見、双眼鏡等器材の貸し出しを行いました。



みどりの保育園 きのこ駒打ち(過年度)



みどりの保育園 クロマツ探検隊 I(過年度)

3 朝日山地の保全管理に関わるイベント

(1) オオハンゴウソウの除去

前頁の「オオハンゴウソウの除去方法を比較するプロットを設定」で述べた箇所で、ボランティア巡視員を対象に募集をし、5月中旬に除去作業を計画していましたが延期しました。実施の機会を検討していましたが、春期のまだ根茎への栄養移動が少ない時期に除去しその効果を検証することを目的としており、時期を逸したため中止としました。